



ボランティアの たまご



NO.180
11月号

編集・発行／四日市市ボランティアセンター 令和2年10月20日発行

活躍中のボランティアさんの声をお届け!!

ボイス VOICE

「いざという時、
助け合える地域を目指して」



みやもと のぼる

今回は宮本 昇さん

高花平地区で四日市市
介護予防・日常生活支援
事業総合事業を実施する
『ちょっと手を貸して運
動』の事務局を務める。
他にも、20年以上交通安
全推進員として活動する
とともに、自治会や地区
社協の活動にも長年従事
し、地域のために尽力し
ている。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

仕事をしていたころから自治会活動には関わっていましたが、本格的にボラン
ティア活動をするようになったのは退職してからです。自分たちの住む高花平団
地の高齢化率が40%を超え、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、空き家も
増加しています。子ども世代は団地を離れ、家庭の中で支えることが難しくなる
中、「このままではいけない、何とかしなくては」と思いました。住民同士で
ちょっとした困りごとの助け合いを行う『ちょっと手を貸して運動』が立ち上がり、
今は毎日のように活動拠点に顔を出しています。

Q. 活動の中で大切にしていることは何ですか？

人と接する時、なるべく同じ目線で話をするように心がけています。上からも
のを言うような態度は相手を嫌な気持ちにしますし、仲良くなれないですね。
あとは「遠くの親戚より近くの他人」という意識も持っています。高花平は県下
初の大規模住宅として建設され、北海道から沖縄まで全国から人が集まってきた
経緯があります。いざという時、遠方の親戚がすぐ駆け付けられるとは限らない、
だからこそ地域のつながりが大切です。

Q. 活動の魅力はどんなことですか？

「ありがとう」「助かるわ」などの言葉は自分も元気をもらえます。また、10
年間続けた毎日の登下校の見守りでは、あいさつをしてくれなかった子どもたち
があいさつしてくれるようになったりと、子どもたちの成長を感じられて嬉し
かったです。

Q. 最後に一言！

自分でできる範囲でボランティア活動に参加してみたいと思います。時代
の変化に伴って、ボランティア活動に対する皆さんの意識も変化しているように
感じますが、活動内容を知って納得できるなら、ぜひ活動を始めてください！

☆障害者スポーツのお手伝い

依頼団体：エンジョイSSピンポンクラブ

日 時：令和2年11月1日（日）

13:00～16:00 ※13:00現地集合

行 事 名：SSピンポン練習会

場 所：ヘルスプラザ2階 軽運動室

持 ち 物：動きやすい服装、上靴、タオル、飲み物

備 考：ヘルスプラザ卓球使用料280円
（中学生以下140円）

申込締切：10月30日（金）

☆ボランティアニュース封入のお手伝い

依頼団体：四日市市ボランティアセンター

日 時：令和2年11月19日（木）13:30～15:30 ※13:30現地集合

場 所：総合会館3階 療育訓練室

申込締切：11月18日（水）



ボランティア募集

☆託児のお手伝い

依頼団体：NPO法人四日市まんなかどもステーション

日 時：令和2年11月18日（水）

10:00～12:30 ※9:30現地集合

事 業 名：カフェまんなか

場 所：四日市まんなかどもステーション

持 ち 物：動きやすい服装、飲み物

申込締切：11月13日（金）

状況によっては中止の場合もあります。



「広げれボランティアの輪」連絡会議※が開催したシンポジウム『誰ひとり取り残さないためのボランティア・市民活動の挑戦 ～持続可能な私づくり、社会づくり～』にWEB視聴で参加しました。その中で印象に残った内容を紹介します。

※「広げれボランティアの輪」連絡会議：あらゆる国民が「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく」ボランティア・市民活動に参加できるような環境づくり、気運づくりを図る目的で、全国的なボランティア・市民活動推進団体、学校教育・社会教育関係団体等により結成。市民活動への全国的な参加よびかけ、ボランティア・市民活動のあり方に関する懇談会やシンポジウム、フォーラムの開催、提言活動等の広報・啓発活動を推進している。



★活動休止で見てきたボランティアの意義

ボランティア活動は“する側” “される側” の「生活になくってはならないもの」となっていた。

活動者（する側）：活動休止となり生活のハリがなくなる。生きがいとなっていたことに気がついた。

活動先（される側）：「活動がなくて寂しい、活動者に会いたい！」と活動再開を心待ちにしている。

★withコロナ、afterコロナにおけるボランティア・市民活動のあり方について ～変わらざるを得ない今こそ～

・これまでの活動、取り組みをふり返る。活動の目的や“大切なこと”を見直し、仲間と共有する。

・「どうすれば活動ができるのか」を考え、工夫する。

例）オンライン化の導入、事業収入だけでなく、寄付・応援をしてもらえるよう情報発信に注力、など



シンポジスト

協 同：二村 睦子氏（日本生活協同組合連合会 執行役員・組織推進本部長） 企 業：長澤 恵美子氏（（一社）日本経済団体連合会 SDGs本部 統括主幹）

活動者：永井 美佳氏（（社福）大阪ボランティア協会 事務局長）

地 域：梅澤 稔 氏（千代田区社会福祉協議会 地域協働課 課長）

コメンテーター：神野 直彦氏（日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授）

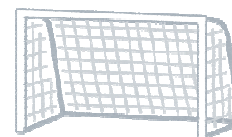
コーディネーター：原田 正樹氏（「広げれボランティアの輪」連絡会議副会長・日本福祉大学副学長）

今回のシンポジウムでは「活動を始めた目的は何か」「今できることは？」を考え、工夫することが大事だとみなさんは仰っていました。先の見えない状況ではありますが、ボランティアセンターもみなさんと一緒にどんなことができるのか考えていきたいと思います。



三重とこわか大会
応援企画☆

GO! GO! とこわか大会



サッカー

2021年に三重県で開催される第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」。今回は『サッカー』を紹介します！

知的障害のある選手が出場できる競技です。1チーム11人制で実施され、男女の区分はありません。ルールは一般のサッカーと同じ。競技時間はハーフタイム10分を挟んで、前後半各30分で行われます。

三重とこわか大会では知的障害のある選手が対象ですが、他にもさまざまな障害者サッカーがあります。

- ・アンプティサッカー…上肢または下肢の切断障害のある方が対象
- ・CPサッカー…比較的軽度の脳性まひのある方が対象
- ・ソーシャルフットボール…精神障害のある方のフットサル
- ・電動車いすサッカー…電動車いすの前にフットガードを取り付けて行うサッカー

- ・ブラインドサッカー…視覚に障害のある方が対象
- ・ろう者サッカー…聴覚に障害のある方が対象

障害の特性に合わせてルールに工夫がなされています。



【開催場所】 鈴鹿市

「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿
サッカー・ラグビー場」
（鈴鹿市御園町1669）

※その他のボランティア募集や助成金情報、イベント・講座情報はホームページにも掲載しています。

フェイスブックページも随時更新中！「いいね」を押してね！ URL: <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/> ⇒⇒⇒



「はじめてのボランティア説明会」のお知らせ

「ボランティアってよくわからない」という人も参加OK！一緒に自分に合った活動を見つけていきましょう！

日程：11月10日（火）19：00～20：30 12月 1日（火）10：00～11：30
11月17日（火）10：00～11：30 12月 8日（火）19：00～20：30
11月28日（土）13：30～15：00 12月19日（土）13：30～15：00

※参加ご希望の方は事前にボランティアセンターまでご連絡ください。

※状況によっては中止の場合もあります。



※『ボランティアのたまご』に関する問い合わせ・申し込みは、ボランティアセンターまでお願いします。

※『ボランティアのたまご』を掲示していただける場所や、置かせていただける場所を募集しています。

心当たりの場所がございましたらご紹介ください。

ボランティア活動をはじめてみたい人、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！

四日市市ボランティアセンター 住所 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2（四日市市総合会館2階）

TEL 059-354-8144 FAX 059-354-6486 E-mail y-vc@m3.cty-net.ne.jp

